

新図書館等複合施設の基本設計案説明会 開催概要

- 1 日 時 令和4年2月16日(水) 午後6時30分から午後7時30分
- 2 場 所 オンライン開催
- 3 出席者 12名
- 4 説明者 4名(株)佐藤総合計画:建築(意匠)主任技術者管 牛込具之、
意匠担当 小寺亮、東裕子、尾藤勇志)
- 5 事務局 7名(生涯学習課:平井課長、余野室長、小林係長、木浦主事、齊木主査
建設課:渡部参事、山岸技師補)
- 6 次 第
 - 1) 開会
 - 2) あいさつ
 - 3) 新図書館等複合施設の基本設計等について
 - ①概要説明
 - ②詳細説明(設計のコンセプト、考え方、雪対策など)
 - 4) 閉会

1) 開会

2) あいさつ

○生涯学習課 [生涯学習課長あいさつ]

3) 新図書館等複合施設の基本設計等について

①概要説明(資料1)

○生涯学習課 建設地は市役所の斜め向かい、朝日町一丁目他地内で、敷地面積は約4,290㎡である。意見交換会では、敷地内の雪処理や駐車場に係る意見を多くいただいた。敷地の南東側に、雪処理を考慮してコンパクトな六角形の建物を整備する。建物の構造は、鉄筋コンクリート、一部鉄骨造3階建て、積雪荷重3mの耐雪型で、延べ床面積は約2,840㎡である。駐車場は、東西合わせて57台、障がい者や妊産婦用のおもいやり駐車場を3台、南出入口付近に駐輪スペースを確保する。駐車場及び建物周辺の除雪は、消雪パイプと機械除雪を併用し、円滑に機械除雪を行えるよう、敷地内に極力段差を設けないよう配慮する。また、おもいやり駐車場から西出入口にかけては、耐雪型の庇を設置する。建物及び庇の雪庇対策として、軒先に融雪ヒーターを設置する。中町側からの歩行者動線は、西駐車場の南側が通路となる。この通路に雁木を設置してほしいとの意見もあったが、機械除雪の支障になることや、雪下ろしの作業が発生することから設置はせず、安全柵を設置する等、歩行者の安全確保を図る。

施設の1階には、東、西、南の3か所に出入口を設ける。車で来て、東と西出入口から入館する方が多いと推察されるため、北側のエントランスにはプレイルームへの出入口や

2階、3階へのエレベーターと階段を配置した。一方、冬でも暖かい南側には、プレイルームや一時預かり室、カフェを配置する。

プレイルームの棚フレームには絵本や子育てに関する本を配置し、1階で貸し出しや読み聞かせなどを行う。東側の多目的ルームは、各種団体の利用やイベント開催のほか、中学生・高校生の学習室としてのニーズが高い時期は、臨時の学習室にするなど、多様な使い方が考えられる。

2階は、生涯学習の拠点として、市民活動やグループ学習、ボランティア活動など、人と活動が繋がる創造の場としている。小学生向けの図鑑や雑誌、中・高生などのヤングアダルト向けの本や雑誌、CD、DVDなどを配置する。また、意見交換会などでは、中・高生の学習スペースの確保についての意見が多くあった。この対応として、利用者が好みの環境で学習できるようなスペースを設けている。また、テレビ会議ブースや視聴覚ブースを設置するなど、多様なニーズに対応する。このほか、意見交換会などでは、音楽の練習などに対応できる部屋の設置の意見があり、市民活動室は、防音効果があり、音楽の練習にも対応できる構造とすることも検討している。スタッフルームからボランティアルーム、閉架書庫については、動線や各階からのアプローチを勘案し、人的な連携がしやすいような配置とした。

3階は、フロアの周りを書棚が囲み、中央階段から目的の書棚や場所にコンパクトにアクセスできるように配置している。施設は、1階の活動的なフロアから上の階へ上がるにつれて静かな階となるよう、音に対する配慮を行い、さらに3階フロアにおいても、西側には児童図書を、北側には落ち着いて読書ができるエリアを設け、音のゾーニングにより、誰もが気兼ねなく利用できるように配慮している。

屋上階は、館内フロアを広くとるため、機械室等を屋上に配置した。

概算事業費について、現時点における本体工事費は、17億5,000万円である。これは、建物本体工事費、東西駐車場及び消雪パイプ等の外構工事費、建物に固定する書棚等備品類などを含めた金額であり、いきいきプラザ等の解体工事費は含まれていない。

事業スケジュールについて、当初計画では、令和4年度に用地買収、工事着手、令和7年度春頃に施設の供用開始としいたが、今後も物価の上昇や各種資材の調達が困難な状況が続くことが予測され、入札の不調による混乱、発注後の工事の遅延などを回避するため、本格的な事業着手を遅らせることとした。

令和4年度は、実施設計の完了、用地交渉等を行い、令和5年度には用地買収後、東側の建物本体と駐車場整備工事に着手する。令和7年度に工事を完了し、供用開始を目指す。建物工事完了後、いきいきプラザの解体工事に着手し、令和8年度に駐車場整備工事を行いグランドオープンとなる。

②詳細説明 設計のコンセプト、考え方、雪対策など（資料2）

○佐藤総合計画 [資料に沿って説明]

(質疑応答)

- 参加者A 整備敷地内の西側と東側とでは高低差がある。対策をどのように考えているか。同じく高低差がある敷地内の雨水の流末処理をどのように考えているか。
- 佐藤総合計画 中町側と県道側は1.5mほどのレベル差がある。緩く中町側から県道側に下げることで、ある程度段差を作らずに、うまく勾配が処理でき、バリアフリーな計画となる。排水計画は、市神社といきいきプラザの東側出入口の間に用水路が流れており、そこに向かって水を流す計画である。
- 参加者B 静寂読書室ができるということで、楽しみにしている。パソコンコーナーやそういったところの設置はあるのか。
- 佐藤総合計画 3階に静寂読書室を設けている。静寂読書室は静かに本を読んでもらうような部屋を想定している。
- パソコンを操作するような場合は、3階北東側の閲覧スペースや2階の学習スペース、で使用することを想定している。
- さらに2階にはテレビ会議ブースを設けてオンライン会議の使用に対応したブースをいくつか用意し、今の時代に合わせた新しい図書館づくりを目指して計画を進めてきた。
- 参加者B 飲食ができるスペースはあるか。
- 佐藤総合計画 飲食スペースは、1階の共用部分で飲食可能なスペースにしてはどうかというようなことを想定しながら進めている。この中の南側にカフェがあり、そういったものを組み込みながら計画している。
- 参加者B 読書やパソコンコーナーでは飲食はできないということでよいか。
- 佐藤総合計画 他の図書館の事例では、飲食可能スペースはエリアを絞って設けながら、ペットボトルや蓋のある容器に入った飲み物は、図書館空間に持ち込み可とする施設が比較的多い。その辺の運用も含め、今後、市と協議して進めていきたい。
- 生涯学習課 説明のとおり、1階エントランスとカフェスペースのあたりをカフェ等で購入されたものを楽しんでいただきながら、交流の場として活用していただくことを想定している。2階、3階で食事等というのは難しいと考えている。基本的には蓋のある飲み物を飲む程度を現時点では想定している。運用については、これから詰めていく。
- 参加者C 多目的トイレにオストメイトはあるか。
- 佐藤総合計画 実施設計時に具体的にどういう設備を入れるか決めていくことになるが、オストメイトについては、各階の多目的トイレに入れるのか、1階だけにするのか、今後決めていきたい。加えて、子育て関係の施設が入ることから、ベビーシートをどうするかなどにも配慮しながら進めていきたい。
- オストメイトを最低1基入れることは必須である。
- 参加者C 「妙高市新図書館のデザインが決まった」という報道の記事を見たが、スケジュールについて、今一度確認したい。

○生涯学習課 基本設計については、今年度中の完了を目指しており、これまで意見交換会等を行いながら、皆様の意見を広く募って、今回ある程度の形がまとまったということで、昨日議会に報告をしたものである。

また、今日の意見を最終的には3月までの段階でもう一度検討した上で、まとめていきたいと考えている。

スケジュールについて、建物の供用開始は現時点では令和7年度中を目指している。すべての工事の完了は令和8年度中の予定である。

○佐藤総合計画 補足すると、基本設計で決めるべき内容と実施設計で決めるべき内容がある。

基本設計では、平面の構成など大枠を決めたり、その部屋の使い方などの情報整理をしたりしながら、建物の骨格のようなものを決めていく。

いわゆる外観のデザインや窓の位置、外壁などそういったことは、実施設計でしっかり決めてく。

○参加者C 今年の1月初めに行ったアンケートは、基本設計にどのように反映されたか。また、自由意見について、アンケート実施報告で一部抜粋されていたが、それ以外にも何かあれば、どこかに記してほしい。

○生涯学習課 例えば、アンケートにあったカフェの充実については、ある程度カフェを広く、エントランスも利用いただけるような、レイアウトを考えている。

学習室の関係や学生が勉強できるスペースを充実させてほしいという意見に対しては、2階に学習スペースを設けたり、静かに学習できる学習室を設けたりするなど、それぞれ利用者が選べるように考えている。

また、リモートワークができる設備を設けてほしいという意見に対しては、個室のテレビ会議ブースを設けるなど、いただいた意見に対しては検討した上で、設計に反映した。

○参加者C その他の意見も見られると良いと思った。今後の運営に活かしてほしい。運営面が大事だと考えている。こんなふうと考えている市民がいるということを情報開示していただけると非常にありがたい。

それを見た方が、図書館に対して、自分の考えも含め改めて考えることによって、図書館をオープンしたときに、利用者の増加につながると思う。

○生涯学習課 アンケートの中には運営面に関する意見なども多くあった。運営等については、今後、検討を進めることになるので、各段階に意見をお示しできるように、機会を設けていきたい。

○参加者A 蔵書計画はどのようなか。また、ICTを活用した貸出などの計画はどのようなか。

○生涯学習課 新図書館の本館では、開館時の蔵書数を11万冊にしたいと考えている。書棚の配置は基本設計の段階で、現時点のイメージとして載せている。

この書棚の数がそのまま対応した形ということではなく、今後実施設計の中や蔵書計画等を再度見直す中で、具体的に検討していきたい。

○佐藤総合計画 当初の目標冊数に対してのスペース取りは設計しており、これから実施設計に入る中で、具体的な本の分類をどこに置かなども考えながら進めていく。基本設計時からある程度イメージしながら、引き続きより細かく設計を進めていく。

- 生涯学習課 新図書館では書籍にI Cタグを取りつける予定としている。I Cタグを取りつけることによって、自動貸し出し機の利用が可能になる。また、図書館スタッフが、直接対応することもできる。
- 参加者A 本の貸し出しエリアは、ここから先は、手続きしてないと持ち出せないなどエリア分けされているのか。
- 佐藤総合計画 今回の施設は、主に図書館機能、子育て支援機能、生涯学習機能の3つが複合になるが、捉え方としては、1階から3階まで、全てが図書館だというような捉え方で、いかに本と活動が融合していくかが、大切なことだと思っている。
本のセキュリティという意味では、1階の3つの出入口にBDS（本の持ち出し防止装置）を設置して、1階から3階まで、本を持ち出せるような施設づくりを目指しながら進めている。
- 参加者A 3階の本を1階で読んでも良いということか。
- 佐藤総合計画 そのとおりである。3階で取った本を1階で読んで、それを借りたくなったら1階で貸し出し処理ができるような機器を設置したいと思っている。
- 生涯学習課 本日いただいた意見は再度検討し、今年度3月を目途に基本設計をまとめていきたいと考えている。来年度は、実施設計や運用面の詳細な内容について検討を進めていく。いただいた意見は、基本設計だけではなく、今後の実施設計や運営面の検討の中でも参考としていきたい。
以上で、新図書館等複合施設基本設計案に係る説明会を閉会とさせていただきます。